

第3章 新入生および保護者調査の結果報告 —奨学金・学生寮に関する集計結果—

(1) 問題・目的

日本の高等教育費に占める家計負担の割合は、国際的に極めて高く、世界各国と比較すると、韓国と並んで、日本の大学等の授業料は高く、奨学金受給率は低い状況にある。また、親の世帯年収に占める大学の授業料は年々上昇するなど、教育費の負担は増加傾向にある。このような教育を取り巻く社会的変化から、経済的に困難な状況に置かれている学生への経済的支援の充実は重要な課題であり、本学でも様々な支援が行われている。

まず、経済的支援の大きな役割を担うものとして、奨学金制度が挙げられる。本学では、日本学生支援機構、地方公共団体等からの奨学金の他、予約型奨学金「みがかずば」や、成績優秀者奨学金、育児支援奨学金など、大学関係者からの寄附金などによる大学独自の奨学金も多数用意されている。こうした多様な奨学金が設定されていることにより、様々な学生のニーズに対応できる反面、各種奨学金によって、募集時期や応募方法、申請書類等が異なるため、学生が情報を十分に把握・理解することが難しかったり、応募しにくいものがあるという問題も生じている。

また、学生への経済的・生活支援の一つとして、本学では、3つの学生寮を運営している。1つは、学部学生および留学生を対象とした「国際学生宿舎」（定員400名、自治寮）であり、2つ目は、大学院生を対象とした「小石川寮」（定員80名、自治寮）である。これらの寮に加え、2011年に、学部1、2年生を対象とした「お茶大SCC」（定員50名、大学による管理・運営）が建設され、2011年度から入寮を開始した。これらの寮は、それぞれに独自の特徴があり、機能分化がなされているが、全ての寮に共通して、経済状況・家庭状況を考慮して入寮選考を行っており、住居を低価格で提供することで、経済的支援としての大きな役割を担っている。

そこで、本章では、新入生および保護者調査の中から、奨学金制度および学生寮に関する調査項目を取り上げ、それぞれの現状を明らかにし、今後の課題や展開を示唆することを目的とする。具体的には、以下の2点について明らかにする。

1. 新入生のうち、どのような学生が奨学金を認知しているのか、奨学金の受給経験があるのか、学生寮を認知しているのかを明らかにし、本学の奨学金制度および学生寮の今後の課題や展開を示唆する。
2. 保護者のうち、どのような保護者が奨学金を希望しているのか、学生寮への入寮を希望しているのかを明らかにし、本学の奨学金制度および学生寮の今後の課題や展開を示唆する。

(2) 方法

調査対象者、調査時期、質問項目については、調査の概要に記載されているため、省略する。

(3) 奨学金に関する結果

①新入生の結果

どのような学生が、奨学金を認知しているのかを明らかにするため、奨学金の認知×奨学金の受給経験、兄弟の人数、住んでいる場所、学生寮の認知のクロス表を作成した。奨学金の認知、学生寮の認知は、それぞれの中で、一つでも認知していれば「知っている」とした。結果を表1-1～1-4に示す。

			奨学金認知度			合計
			知っている	知らない	不明	
奨学金受給歴	あり	度数	33	3	1	37
		総和の %	8.3%	.8%	.3%	9.3%
	なし	度数	247	90	22	359
		総和の %	62.4%	22.7%	5.6%	90.7%
合計		度数	280	93	23	396
		総和の %	70.7%	23.5%	5.8%	100.0%

これまでに奨学金を受けたことがある場合は、奨学金の認知度が高く、これまでに奨学金を受けたことがない場合は、奨学金の認知度が低いことが示された。

			奨学金認知度			合計
			知っている	知らない	不明	
兄弟姉妹の人数	2人	度数	147	55	9	211
		総和の %	43.5%	16.3%	2.7%	62.4%
	3人	度数	87	20	6	113
		総和の %	25.7%	5.9%	1.8%	33.4%
	4人	度数	9	1	1	11
		総和の %	2.7%	.3%	.3%	3.3%
	5人	度数	2	0	1	3
		総和の %	.6%	.0%	.3%	.9%
合計		度数	245	76	17	338
		総和の %	72.5%	22.5%	5.0%	100.0%

兄弟姉妹の人数と奨学金認知との関連では、有意な効果は見られなかった。

			奨学金認知度			合計
			知っている	知らない	不明	
出身地	国内	度数	268	90	22	380
		総和の %	67.7%	22.7%	5.6%	96.0%
	海外	度数	5	1	1	7
		総和の %	1.3%	.3%	.3%	1.8%
	不明	度数	7	2	0	9
		総和の %	1.8%	.5%	.0%	2.3%
合計		度数	280	93	23	396
		総和の %	70.7%	23.5%	5.8%	100.0%

出身地と奨学金認知との関連では、有意な効果は見られなかった。

		奨学金認知度			合計	
		知っている	知らない	不明		
学生寮の認知	知らない	度数	68	51	6	125
		総和の%	17.2%	12.9%	1.5%	31.6%
	知っている	度数	210	42	15	267
		総和の%	53.0%	10.6%	3.8%	67.4%
	不明	度数	2	0	1	3
		総和の%	.5%	.0%	.3%	.8%
合計		度数	280	93	23	396
		総和の%	70.7%	23.5%	5.8%	100.0%

学生寮について認知している場合は、奨学金の認知度が高く、学生寮について認知していない場合は、奨学金の認知度が低いことが示された。

また、どのような学生が、奨学金の受給経験があるのかを明らかにするため、奨学金の受給経験×兄弟の人数、住んでいる場所、学生寮に対する認知のクロス表を作成した。それぞれの結果を表2-1～2-3に示す。

		奨学金受給歴		合計	
		あり	なし		
兄弟姉妹の人数	2人	度数	16	195	211
		総和の%	4.7%	57.7%	62.4%
	3人	度数	11	102	113
		総和の%	3.3%	30.2%	33.4%
	4人	度数	2	9	11
		総和の%	.6%	2.7%	3.3%
5人	度数	2	1	3	
	総和の%	.6%	.3%	.9%	
合計		度数	31	307	338
		総和の%	9.2%	90.8%	100.0%

兄弟姉妹の人数が多い場合は、奨学金の受給経験があることが示された。

		奨学金受給歴		合計	
		あり	なし		
出身地	国内	度数	37	343	380
		総和の%	9.3%	86.6%	96.0%
	海外	度数	0	7	7
		総和の%	.0%	1.8%	1.8%
	不明	度数	0	9	9
		総和の%	.0%	2.3%	2.3%
合計		度数	37	359	396
		総和の%	9.3%	90.7%	100.0%

出身地と奨学金の受給経験との関連では、有意な効果は見られなかった。

			奨学金受給歴		合計
			あり	なし	
学生寮の認知	知らない	度数	12	113	125
		総和の %	3.0%	28.5%	31.6%
	知っている	度数	25	242	267
		総和の %	6.3%	61.1%	67.4%
	不明	度数	0	3	3
		総和の %	.0%	.8%	.8%
合計		度数	37	359	396
		総和の %	9.3%	90.7%	100.0%

学生寮の認知度と奨学金の受給経験との関連では、有意な効果は見られなかった。

②保護者の結果

どのような保護者が、子どもの奨学金を希望しているかを明らかにするため、奨学金の希望×奨学金の受給経験、奨学金の認知、学生寮に対する認知、世帯年収、家計支持者の年収、父親の就労形態、母親の就労形態、家計支持者の属性、入学後の暮らし向きのクロス表を作成した。それぞれの結果を表3-1～3-9に示す。

			奨学金希望群		合計
			非希望群	希望群	
奨学金受給経験	経験あり	度数	7	30	37
		総和の %	2.2%	9.4%	11.6%
	なし	度数	128	155	283
		総和の %	40.0%	48.4%	88.4%
合計		度数	135	185	320
		総和の %	42.2%	57.8%	100.0%

過去に奨学金を受けたことがある場合は、奨学金の希望が多いことが示された。

			奨学金希望群		合計
			非希望群	希望群	
奨学金認知	知らない	度数	36	8	44
		総和の %	11.3%	2.5%	13.8%
	知っている	度数	98	176	274
		総和の %	30.6%	55.0%	85.6%
	不明	度数	1	1	2
		総和の %	.3%	.3%	.6%
合計		度数	135	185	320
		総和の %	42.2%	57.8%	100.0%

奨学金の認知が高い場合は、奨学金の希望が多いことが示された。

表3-3 学生寮認知 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望群		合計
			非希望群	希望群	
学生寮認知	知らない	度数	58	48	106
		総和の %	18.1%	15.0%	33.1%
	知っている	度数	75	134	209
		総和の %	23.4%	41.9%	65.3%
	不明	度数	2	3	5
		総和の %	.6%	.9%	1.6%
合計		度数	135	185	320
		総和の %	42.2%	57.8%	100.0%

学生寮について認知している場合は、奨学金の希望が多いことが示された。

表3-4 世帯年収 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望群		合計
			非希望群	希望群	
世帯年収	400万円未満	度数	4	31	35
		総和の %	1.3%	9.7%	10.9%
	400万円以上 600万円未満	度数	5	32	37
		総和の %	1.6%	10.0%	11.6%
	600万円以上 800万円未満	度数	9	39	48
		総和の %	2.8%	12.2%	15.0%
	800万円以上 1000万円未満	度数	28	38	66
		総和の %	8.8%	11.9%	20.6%
	1000万円以上 1200万円未満	度数	40	19	59
		総和の %	12.5%	5.9%	18.4%
	1200万円以上 1400万円未満	度数	22	12	34
		総和の %	6.9%	3.8%	10.6%
	1400万円以上 1600万円未満	度数	11	3	14
		総和の %	3.4%	.9%	4.4%
	1600万円以上 1800万円未満	度数	2	2	4
		総和の %	.6%	.6%	1.3%
	1800万円以上	度数	11	3	14
		総和の %	3.4%	.9%	4.4%
	不明	度数	3	6	9
		総和の %	.9%	1.9%	2.8%
合計		度数	135	185	320
		総和の %	42.2%	57.8%	100.0%

世帯年収が低い場合は、奨学金の希望が多いことが示された。

表3-5 家計支持者の年収 と 奨学金希望群 のクロス表

		奨学金希望群		合計	
		非希望群	希望群		
家計支持者の 年収	400万円未満	度数	5	42	47
		総和の %	1.6%	13.1%	14.7%
	400万円以上 600万円未満	度数	10	42	52
		総和の %	3.1%	13.1%	16.3%
	600万円以上 800万円未満	度数	20	50	70
		総和の %	6.3%	15.6%	21.9%
	800万円以上 1000万円未満	度数	40	27	67
		総和の %	12.5%	8.4%	20.9%
	1000万円以上 1200万円未満	度数	27	12	39
		総和の %	8.4%	3.8%	12.2%
	1200万円以上 1400万円未満	度数	14	4	18
		総和の %	4.4%	1.3%	5.6%
	1400万円以上 1600万円未満	度数	6	2	8
		総和の %	1.9%	.6%	2.5%
	1600万円以上 1800万円未満	度数	3	1	4
		総和の %	.9%	.3%	1.3%
	1800万円以上	度数	9	2	11
		総和の %	2.8%	.6%	3.4%
不明	度数	1	3	4	
	総和の %	.3%	.9%	1.3%	
合計		度数	135	185	320
		総和の %	42.2%	57.8%	100.0%

家計支持者の年収が低い場合は、奨学金の希望が多いことが示された。

表3-6 父親の職業 と 奨学金希望群 のクロス表

		奨学金希望群		合計	
		非希望群	希望群		
父親の職業	フルタイム勤務	度数	123	128	251
		総和の %	38.4%	40.0%	78.4%
	パートタイム勤務	度数	1	5	6
		総和の %	.3%	1.6%	1.9%
	自 営	度数	7	26	33
		総和の %	2.2%	8.1%	10.3%
	無 職	度数	2	5	7
		総和の %	.6%	1.6%	2.2%
	いない	度数	2	18	20
		総和の %	.6%	5.6%	6.3%
	不明	度数	0	3	3
		総和の %	.0%	.9%	.9%
合計		度数	135	185	320
		総和の %	42.2%	57.8%	100.0%

父親がフルタイムで勤務している場合は、奨学金の希望が少なく、父親がいない場合は、奨学金の希望が多いことが示された。

表3-7 母親の職業 と 奨学金希望群 のクロス表

		奨学金希望群		合計	
		非希望群	希望群		
母親の職業	フルタイム勤務	度数	29	54	83
		総和の %	9.1%	16.9%	25.9%
	パートタイム勤務	度数	40	68	108
		総和の %	12.5%	21.3%	33.8%
	自 営	度数	9	16	25
		総和の %	2.8%	5.0%	7.8%
	無 職	度数	55	43	98
		総和の %	17.2%	13.4%	30.6%
	いない	度数	1	3	4
		総和の %	.3%	.9%	1.3%
	不明	度数	1	1	2
		総和の %	.3%	.3%	.6%
合計	度数	135	185	320	
	総和の %	42.2%	57.8%	100.0%	

母親が無職の場合は、奨学金の希望が少ないことが示された。

表3-8 家計支持者 と 奨学金希望群 のクロス表

		奨学金希望群		合計	
		非希望群	希望群		
家計支持者	父親	度数	130	154	284
		総和の %	40.6%	48.1%	88.8%
	母親	度数	4	30	34
		総和の %	1.3%	9.4%	10.6%
	その他	度数	1	1	2
		総和の %	.3%	.3%	.6%
合計	度数	135	185	320	
	総和の %	42.2%	57.8%	100.0%	

家計支持者が父親の場合は、奨学金の希望が少なく、家計支持者が母親の場合は、奨学金の希望が多いことが示された。

表3-9 入学後の暮らし向き と 奨学金希望群 のクロス表

		奨学金希望群		合計	
		非希望群	希望群		
入学した後の暮らし向き	ゆとりがない	度数	4	87	91
		総和の %	1.3%	27.2%	28.4%
	あまりゆとりがない	度数	56	82	138
		総和の %	17.5%	25.6%	43.1%
	多少ゆとりがある	度数	59	10	69
		総和の %	18.4%	3.1%	21.6%
	ゆとりがある	度数	14	3	17
		総和の %	4.4%	.9%	5.3%
	不明	度数	2	3	5
		総和の %	.6%	.9%	1.6%
	合計	度数	135	185	320
		総和の %	42.2%	57.8%	100.0%

入学後の暮らし向きにゆとりがないと感じている場合は、奨学金の希望が多く、ゆとりがあると感じている場合は、奨学金の希望が少ないことが示された。

(4) 学生寮に関する結果

①新入生の結果

どのような学生が、学生寮を認知しているのかを明らかにするため、学生寮の認知×奨学金の受給歴、兄弟の人数、住んでいる場所のクロス表を作成した。学生寮の認知は、一つでも認知していれば「知っている」とした。それぞれの結果を表4-1～4-3に示す。

表4-1 奨学金受給歴 と 学生寮認知度 のクロス表

			学生寮認知度			合計
			知らない	知っている	不明	
奨学金受給歴	あり	度数	12	25	0	37
		総和の %	3.0%	6.3%	0.0%	9.3%
	なし	度数	113	242	4	359
		総和の %	28.5%	61.1%	1.0%	90.7%
合計		度数	125	267	4	396
		総和の %	31.6%	67.4%	1.0%	100.0%

奨学金受給歴と学生寮の認知との関連では、有意な効果は見られなかった。

表4-2 兄弟姉妹人数 と 学生寮認知度 のクロス表

			学生寮認知度			合計
			知らない	知っている	不明	
兄弟姉妹 の人数	2人	度数	67	141	3	211
		総和の %	19.8%	41.7%	0.9%	62.4%
	3人	度数	32	81	0	113
		総和の %	9.5%	24.0%	0.0%	33.4%
	4人	度数	1	10	0	11
		総和の %	0.3%	3.0%	0.0%	3.3%
	5人	度数	1	2	0	3
		総和の %	0.3%	0.6%	0.0%	0.9%
合計		度数	101	234	3	338
		総和の %	29.9%	69.2%	0.9%	100.0%

兄弟姉妹の人数と学生寮の認知との関連では、有意な効果は見られなかった。

表4-3 出身地 と 学生寮認知度 のクロス表

			学生寮認知度			合計
			知らない	知っている	不明	
出身地	国内	度数	120	257	3	380
		総和の %	30.3%	64.9%	0.8%	96.0%
	海外	度数	2	4	1	7
		総和の %	0.5%	1.0%	0.3%	1.8%
	不明	度数	3	6	0	9
		総和の %	0.8%	1.5%	0.0%	2.3%
合計		度数	125	267	4	396
		総和の %	31.6%	67.4%	1.0%	100.0%

出身地と学生寮の認知との関連では、有意な効果は見られなかった。

②保護者の結果

どのような保護者が、子どもの学生寮への入寮を希望しているかを明らかにするため、学生寮への入寮の希望×奨学金の受給経験、奨学金の認知、学生寮に対する認知、世帯年収、家計支持者の年収、父親の就労形態、母親の就労形態、家計支持者の属性、入学後の暮らし向きのクロス表を作成した。それぞれの結果を表5-1～5-9に示す。

			学生寮希望			合計
			希望しない	希望する	不明	
奨学金 受給経験	経験あり	度数	23	15	0	38
		総和の %	5.9%	3.9%	0.0%	9.8%
	なし	度数	230	97	24	351
		総和の %	59.1%	24.9%	6.2%	90.2%
合計		度数	253	112	24	389
		総和の %	65.0%	28.8%	6.2%	100.0%

奨学金受給歴と学生寮への入寮の希望との関連では、有意な効果は見られなかった。

			学生寮希望			合計
			希望しない	希望する	不明	
奨学金認知	知らない	度数	41	8	2	51
		総和の %	10.5%	2.1%	0.5%	13.1%
	知っている	度数	196	95	18	309
		総和の %	50.4%	24.4%	4.6%	79.4%
	不明	度数	16	9	4	29
		総和の %	4.1%	2.3%	1.0%	7.5%
合計		度数	253	112	24	389
		総和の %	65.0%	28.8%	6.2%	100.0%

奨学金認知と学生寮への入寮の希望との関連では、有意な効果は見られなかった。

			学生寮希望			合計
			希望しない	希望する	不明	
学生寮認知	知らない	度数	132	1	2	135
		総和の %	33.9%	0.3%	0.5%	34.7%
	知っている	度数	117	111	18	246
		総和の %	30.1%	28.5%	4.6%	63.2%
	不明	度数	4	0	4	8
		総和の %	1.0%	0.0%	1.0%	2.1%
合計		度数	253	112	24	389
		総和の %	65.0%	28.8%	6.2%	100.0%

学生寮を知っている場合は、学生寮への入寮の希望が多く、知らない場合は、学生寮への入寮の希望が少ないことが示された。

表5-4 世帯年収 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望			合計
			希望しない	希望する	不明	
世帯年収	400万円未満	度数	18	17	2	37
		総和の %	4.6%	4.4%	.5%	9.5%
	400万円以上 600万円未満	度数	21	17	1	39
		総和の %	5.4%	4.4%	.3%	10.0%
	600万円以上 800万円未満	度数	30	21	2	53
		総和の %	7.7%	5.4%	.5%	13.6%
	800万円以上 1000万円未満	度数	50	27	6	83
		総和の %	12.9%	6.9%	1.5%	21.3%
	1000万円以上 1200万円未満	度数	52	15	2	69
		総和の %	13.4%	3.9%	.5%	17.7%
	1200万円以上 1400万円未満	度数	35	7	1	43
		総和の %	9.0%	1.8%	.3%	11.1%
	1400万円以上 1600万円未満	度数	20	0	4	24
		総和の %	5.1%	.0%	1.0%	6.2%
	1600万円以上 1800万円未満	度数	6	0	1	7
		総和の %	1.5%	.0%	.3%	1.8%
1800万円以上	度数	13	4	2	19	
	総和の %	3.3%	1.0%	.5%	4.9%	
不明	度数	8	4	3	15	
	総和の %	2.1%	1.0%	.8%	3.9%	
合計	度数	253	112	24	389	
	総和の %	65.0%	28.8%	6.2%	100.0%	

世帯年収が低い場合は、学生寮への入寮の希望が多いことが示された。

表5-5 家庭支持者の年収 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望			合計
			希望しない	希望する	不明	
家計支持者 の年収	400万円未満	度数	25	23	2	50
		総和の %	6.4%	5.9%	.5%	12.9%
	400万円以上 600万円未満	度数	29	21	5	55
		総和の %	7.5%	5.4%	1.3%	14.1%
	600万円以上 800万円未満	度数	47	31	6	84
		総和の %	12.1%	8.0%	1.5%	21.6%
	800万円以上 1000万円未満	度数	63	19	2	84
		総和の %	16.2%	4.9%	.5%	21.6%
	1000万円以上 1200万円未満	度数	42	9	2	53
		総和の %	10.8%	2.3%	.5%	13.6%
	1200万円以上 1400万円未満	度数	20	3	1	24
		総和の %	5.1%	.8%	.3%	6.2%
	1400万円以上 1600万円未満	度数	9	0	2	11
		総和の %	2.3%	.0%	.5%	2.8%
	1600万円以上 1800万円未満	度数	4	0	1	5
		総和の %	1.0%	.0%	.3%	1.3%
1800万円以上	度数	10	4	1	15	
	総和の %	2.6%	1.0%	.3%	3.9%	
不明	度数	4	2	2	8	
	総和の %	1.0%	.5%	.5%	2.1%	
合計	度数	253	112	24	389	
	総和の %	65.0%	28.8%	6.2%	100.0%	

家計支持者の年収が低い場合は、学生寮への入寮の希望が多いことが示された。

		学生寮希望			合計		
		希望しない	希望する	不明			
父親の職業	フルタイム勤務	度数	211	84	20	315	
		総和の %	54.2%	21.6%	5.1%	81.0%	
	パートタイム勤務	度数	3	2	1	6	
		総和の %	.8%	.5%	.3%	1.5%	
	自 営	度数	22	13	3	38	
		総和の %	5.7%	3.3%	.8%	9.8%	
	無 職	度数	3	4	0	7	
		総和の %	.8%	1.0%	.0%	1.8%	
	いない	度数	13	7	0	20	
		総和の %	3.3%	1.8%	.0%	5.1%	
	不明	度数	1	2	0	3	
		総和の %	.3%	.5%	.0%	.8%	
	合計		度数	253	112	24	389
			総和の %	65.0%	28.8%	6.2%	100.0%

父親の職業と学生寮希望との関連では、有意な効果は見られなかった。

		学生寮希望			合計		
		希望しない	希望する	不明			
母親の職業	フルタイム勤務	度数	67	30	8	105	
		総和の %	17.2%	7.7%	2.1%	27.0%	
	パートタイム勤務	度数	81	39	9	129	
		総和の %	20.8%	10.0%	2.3%	33.2%	
	自 営	度数	17	9	1	27	
		総和の %	4.4%	2.3%	.3%	6.9%	
	無 職	度数	84	31	5	120	
		総和の %	21.6%	8.0%	1.3%	30.8%	
	いない	度数	3	2	1	6	
		総和の %	.8%	.5%	.3%	1.5%	
	不明	度数	1	1	0	2	
		総和の %	.3%	.3%	.0%	.5%	
	合計		度数	253	112	24	389
			総和の %	65.0%	28.8%	6.2%	100.0%

母親の職業と学生寮希望との関連では、有意な効果は見られなかった。

			学生寮希望			合計
			希望しない	希望する	不明	
家計支持者	父親	度数	236	93	24	353
		総和の %	60.7%	23.9%	6.2%	90.7%
	母親	度数	15	19	0	34
		総和の %	3.9%	4.9%	.0%	8.7%
	その他	度数	2	0	0	2
		総和の %	.5%	.0%	.0%	.5%
合計		度数	253	112	24	389
		総和の %	65.0%	28.8%	6.2%	100.0%

家計支持者が母親の場合は、学生寮への入寮の希望が多いことが示された。

			学生寮希望			合計	
			希望しない	希望する	不明		
入学した後の暮らし向き	ゆとりがない	度数	42	55	3	100	
		総和の %	10.8%	14.1%	.8%	25.7%	
	あまりゆとりがない	度数	111	47	10	168	
		総和の %	28.5%	12.1%	2.6%	43.2%	
	多少ゆとりがある	度数	76	7	10	93	
		総和の %	19.5%	1.8%	2.6%	23.9%	
	ゆとりがある	度数	21	1	1	23	
		総和の %	5.4%	.3%	.3%	5.9%	
	不明	度数	3	2	0	5	
		総和の %	.8%	.5%	.0%	1.3%	
	合計		度数	253	112	24	389
			総和の %	65.0%	28.8%	6.2%	100.0%

入学後の暮らし向きにゆとりがないと感じている場合は、学生寮への入寮の希望が多く、ゆとりがあると感じている場合は、学生寮への入寮の希望が少ないことが示された。

(5) 考察と今後の課題

①奨学金に関する考察と今後の課題

奨学金についての新入生の結果をまとめると、これまでに奨学金の受給経験があるもの、学生寮について認知しているものは、奨学金の認知が高いことが示された。また、兄弟姉妹の人数が多いものは、奨学金の受給経験があることが示された。兄弟姉妹が多い学生は、これまでも奨学金を受ける機会が多かったものと考えられ、奨学金についての知識も多く、大学奨学金の認知も高いのではないかと考えられる。また、学生寮も学生への経済支援の一環であるが、奨学金について認知しているものは、こうした支援に対する認知も高いものと考えられる。これらのことから、奨学金の認知は、これまでの奨学金の受給経験と関連しており、かつて奨学金を受けたことがあるものは大学奨学金の認知も高い一方、受けたことがないものは、あまり認知していないものと考えられる。しかし、かつて奨学金を受けたことがないものの中にも、大学在学時に、奨学金支援が必要になる学生がいる可能性を考えると、そうした学生にも情報が行きわたるようにする工夫が必要であろう。

そのために、告知方法を改善することが今後の課題の一つとして挙げられる。現在、お茶の水女子大学のHP上に、奨学金情報を記載しているが、申請時期や奨学金の種類などが分かりにくいいため、Webページを改良し、どのような奨学金があり、どんな人が申請できるのかなどについて、モデルケースを示すなどして、分かりやすく記載する必要があるだろう。あわせて、各種奨学金の募集時期や、申請締め切りの前などに、ochaメールでも配信し、ポスターを学内に掲示して呼びかけること、奨学金の申請を決めることが多い新学期に、奨学金の説明会をすることなども有効ではないかと考えられる。このように、様々な告知方法を併用し、どの学生にも平等に情報が行きわたるよう、情報提供方法を検討すべきと考えられる。

次に、奨学金についての保護者の結果をまとめると、これまでに奨学金の受給経験があるもの、奨学金・学生寮について認知しているもの、世帯年収・家計支持者の年収が低いもの、父親がいないもの、家計支持者が母親のもの、入学後の暮らし向きにゆとりがないと感じているものは、奨学金の希望者が多いことが示された。新入生の結果と合わせて考えると、奨学金や学生寮について認知しているものは、これまでも奨学金を受給したことがある場合が多く、大学在学時も奨学金が必要なものが多いのではないかと考えられる。また、世帯年収・家計支持者の年収が低いものや、父親がいないもの、家計支持者が母親のもの、入学後の暮らし向きにゆとりがないと感じているものは、総じて、奨学金支援が必要と考えられ、保護者からの希望も高いのではないかと考えられる。

②学生寮に関する考察と今後の課題

学生寮についての新入生の結果をまとめると、学生寮の認知と、奨学金受給歴、兄弟姉妹の人数、出身地との関連では、有意な効果は見られなかったことから、これらの関連は小さなものではないかと考えられる。

一方、保護者の結果をまとめると、学生寮について認知しているもの、世帯年収・家計支持者の年収が低いもの、家計支持者が母親のもの、入学後の暮らし向きにゆとりがないと感じているものは、学生寮への入寮の希望者が多いことが示された。これらの結果は、奨学金の希望と同様の結果であり、経済支援の一環として、奨学金にあわせて、学生寮の重要性が示唆されたと考えられる。また、学生寮について認知している場合は、学生寮への入寮希望者が多かったことから、今後、学生寮の情報を学生や保護者に、広く提供していくことも重要であろう。その際、各寮において、機能や特徴が異なるため、各寮の違いも具体的に示し、各自に適した寮を選択しやすくすることも必要と考えられる。

(6) まとめ

本章では、新入生および保護者を対象に、奨学金と学生寮の現状と課題について検討した。その結果、主に、以下の2点が示唆された。

第1に、これまでに奨学金の受給経験があったり、奨学金の必要性が高く、奨学金や学生寮について認知している場合は、奨学金の希望が多いことが示された。

第2に、学生寮への入寮の必要性が高く、学生寮について認知している場合は、学生寮の入寮希望が多いことが示された。

これらのことから、現状において奨学金や学生寮などの経済支援の必要性が高い場合は、より情報が認知されており、支援が求められていると考えられる。一方、現状では経済支援の必要性があまり高くない場合も、今後、支援が必要となる場合もありうるため、そうした学生・保護者にも情報が行きわたるようにしていくことが課題と考えられる。